

支援情報等のお知らせ

- 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - 1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」の結果
 - 2 ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク”つながる”研修会
- 自立支援に関するイベント等の情報
 - 3 Web版「令和6年度ひきこもり講演会」受付中
 - 4 ひきこもり家族教室『生活を豊かにする』
 - 5 ひきこもり支援構築に向けた講演会～当事者の声も聞きたい～
 - 6 第2回ヤングケアラー支援勉強会
 - 7 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ40」
- 民間活動団体等の紹介
 - 8 館林市 不登校の親の会「マーニの会」

1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」の結果

12/19に開催した「県・市町村青少年相談担当職員研修会」の参加者アンケート結果と登壇者への質問の回答結果をまとめました。

なお、研修会は7月に東毛地区で開催を予定しています。
詳細が決まり次第ご案内します。

アンケート結果、当日配付資料はこちらからご覧いただけます。

<https://www.pref.gunma.jp/page/682106.html>

<問い合わせ先>

群馬県子ども・若者支援協議会
(私学・青少年課 青少年育成係)

電話 027-898-3557

e-mail : kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

2 2/9 ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク”つながる”研修会
～誰もがつながり、生き（活き）がいを感じられる社会を目指して～

ぐんまの子ども・若者支援ネットワークでは、子ども・若者支援に携わる方々の資質向上を図るとともに、支援者同士のさらなる連携・協働を推進するため、実践者を招いて研修会を開催します。

⇒ <https://www.g-shakyo.or.jp/news/66959.html>

【研修会の内容】

- ・日時 令和7年2月9日（日）13:30～15:45（受付開始12:30）
- ・会場 群馬県社会福祉総合センタ 2）
- ・基調講演
「誰もがつながり、生き（活き）がいを感じられる社会を目指して」
- ・講師

野中康寛氏

社会福祉法人一麦会「麦の郷」（和歌山県和歌山市）

ひきこもりステーション事業「ハートフルハウス創」センター長

<プロフィール>

1973年和歌山県和歌山市生まれ
一般企業で働いていたが「一度きりの人生。本当にしたい仕事をしよう」と考え民間学童保育の指導員として新しいスタートラインに立つ。
しだいに不登校、ひきこもり問題・障害者福祉・精神保健福祉に
対して関心が高まり96年麦の郷・岩出地域生活支援センター入職。
その後、再び学びの場へ通い、発達保障と基本的な福祉理念を学び、
再び麦の郷・紀の川生活支援センター（精神障害者地域生活支援センター）
に勤務。

・ 申込方法

グーグルフォームにて1月27日（月）までにお申し込みください。
URL : <https://forms.gle/b2E7PgBU72KSGquP9>

【ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク】とは

貧困、虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー、障害、
自殺等、複合化、複雑化した課題を抱え、困難な状況の中で生活して
いる子どもや若者及び家族等を支援している個人・団体同士が交流し、
支援の輪を広げる為に2024年5月に連絡会を設置しました。
会員相互の情報交換や研修会も実施しています。

現在、会員を募集しています。詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.g-shakyo.or.jp/news/62407.html>

【申込み・問い合わせ先】

群馬県社会福祉協議会地域福祉課（担当：茂木恒、山田）

TEL : 027-255-6032

E-Mail : gchiiki@g-shakyo.or.jp

3 Web版「令和6年度ひきこもり講演会」受付中

群馬県こころの健康センターでは、ひきこもり支援に関する知識・
技術の普及啓発を目的として動画配信による講演会を開催します。

【講演会の内容】

- ・ 演題 私の「ひきこもり」を語る～ひきこもる心を理解する～
経験談と元アリスの広場利用者との対談
- ・ 講師 NPO法人 ぐんま若者応援ネット 理事長 佐藤 真人 氏
（アリスの広場運営者・ひきこもり経験者）

＜講師のプロフィール＞

中学1年の頃から不登校となり、以後6年間不登校・ひきこもり
を経験。その間、2つの居場所（フリースペース）を利用。
大検（現高卒認定試験）予備校に通い、20歳で埼玉工業大学に入学、
その後、明治大学大学院へ進学し学ぶ。
大学院卒業後、就職するも半年で退職。28歳で再び居場所に通い、
そこでの就労体験を通して自信を取り戻し、若者サポートステー
ションも利用し、再就職・社会復帰を果たす。
2014年から自身の体験をもとに不登校やひきこもり等の若者の
居場所「アリスの広場」を運営している。

【参加方法】

- ・ YouTube群馬県公式チャンネル「tsulunots」オンライン開催（限定公開）
- ・ 配信期間
令和6年12月25日（水）～令和7年2月28日（金）
- ・ 対象者
一般県民及び保健、医療、福祉、教育等関係機関の職員（定員なし）
- ・ 申込み受付

- 第1回：令和6年12月20日(金)
第2回：令和7年2月28日(金)
・下記QRコードを読み取り、電子申請でお申し込みください
<https://logoform.jp/form/9cfD/817887>

詳細は県こころの健康センターのHPをご覧ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/619821.html>

4 1/28 ひきこもり家族教室『生活を豊かにする』

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

【参加者の声】

「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」を
「選択肢が広がった」 etc...

- 教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、
本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

- 初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて

教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、
下記連絡先までご連絡ください。

- 家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。
こちらからダウンロードしてください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

【1月の家族教室】

教室：1月28日（火） 第4火曜日 13:30～16:00
内容：『生活を豊かにする』

前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）

後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）

◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。

◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、
後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター

専用ダイヤル 027-287-1121

月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）

※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

- 支援者の方の参加もお待ちしております。
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

5 2/3 ひきこもり支援構築に向けた講演会～当事者の声も聞きたい～

玉村町では重層的支援体制整備事業の一環で、高崎健康福祉大学の

協力で、ひきこもり支援の講演会を開催します。

高崎健康福祉大学では、県内でもいち早くひきこもり支援を実践し現在も当事者・家族、支援者の支援に取り組んでいます。

【講演会の内容】

日時：2月3日（月）14:00～16:00

会場：玉村町役場 3階大会議室

（玉村町大字下新田201）

第1部 講演

講師 根岸洋人氏（健康福祉部社会福祉学科 准教授）

第2部 シンポジウム 当事者からの発信

司会 松沼記代氏（健康福祉部社会福祉学科 非常勤講師）

【申込先・問い合わせ先】

申込み先

下記URLから

<https://logoform.jp/form/Pa4N/826811>

問い合わせ先

玉村町役場 健康福祉課 社会福祉係

電話：0270 64 7705

6

2/10 第2回ヤングケアラー支援勉強会
～人権啓発ドラマ「夕焼け」から考える～

群馬県では、ヤングケアラー自身や関係者が相談しやすく、また、地域での実態に応じたきめ細かな支援が行われるよう、ヤングケアラー支援のためのワンストップ相談窓口を設置しています。

群馬県からの委託事業「ヤングケアラー支援ワンストップ相談窓口」を運営する、特定非営利活動法人「虹色のかさ」では支援のための勉強会を下記のとおり開催します。

当日は、人権啓発ドラマ「夕焼け」を視聴した後、参加者で意見交換を行います。

【勉強会の内容】

日時：2月10日（月）18:30～19:45

会場：群馬県社会福祉総合センター203AB会議室

（前橋市新前橋町13-12）

定員：50名（先着順）

参加費：無料

【映画のストーリー】

主人公瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも「家族のことは家族するのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。

しかし、元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩をふみ出します。

【申込先・問い合わせ先】

申込み先URL <https://forms.gle/QSivdQ2mJSZer3N4A>

締め切り 1月30日（木）

問い合わせ先

特定非営利活動法人「虹色のかさ」

電話：080-5794-2194

7 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ40」
フリマサービスは個人間取引です

インターネット上で個人同士が商品や役務を取引できるフリマアプリやフリマサイト等のフリーマーケットサービス（以下「フリマサービス」）を利用されたことはありますか？

群馬県消費生活センターには、フリマサービスを利用してトラブルになったとの相談が出品者からも購入者からも寄せられています。フリマサービスは個人間の取引です。トラブルが起きた際は、原則として当事者間で解決するよう求められる点を十分理解しましょう。

【相談事例】

- ・フリマアプリで商品を購入したところ、すぐに受取評価するよう求められたため購入品を使用する前に受取評価した。その後、商品の不備が確認されたため返金を求めたが、応じてもらえなかった。
- ・フリマアプリで購入した商品が偽物だったため、出品者に返品を求めたが応じてもらえなかった。アプリ運営事業者に相談したところ「当事者間で話し合うように」と言われた。
- ・フリマアプリで商品を購入したが、キャンセルしたくなった。商品到着前に出品者へキャンセルしたい旨を連絡したが、応答がなく商品が届いた。返品したい。
- ・フリマアプリで洋服を出品し発送したが、購入者から「商品が届かない」と苦情を受けた。

【利用するうえでの注意点】

- ・個人間取引であるため、トラブルが起きても消費生活センターは交渉のお手伝いできません。
- ・規約やガイドで取引ルールやトラブル時の対応などについて十分に確認しましょう。
- ・商品到着後、購入者が受取評価をすると出品者に代金が支払われます。サービス上で取引完了となった後に問題に気付いても相手と連絡が取れないことやサポートが受けられないことがあります。必ず商品をよく確認してから受取評価をしてください。
- ・出品する場合も、規約などを確認しましょう。商品の特徴をきちんと購入者へ説明し誤解を招かないように注意しましょう。また、発送前に商品の外観、梱包状況を画像で保存し、製造番号などの商品を特定する情報も記録しておきましょう。

★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや）」

※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001

<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

8 民間活動団体等 館林市 不登校の親の会「マーニの会」

子どもが小学校の時に不登校になり、館林市教委のふれあい学級（教育支援センター）を利用した際に出会った親御さんと意気投合、「もっと話したいね」と、10人程でおしゃべりの会を立ち上げました。

皆さん働いていたので集まりは月1回の夜、公民館の調理室を借りて夕飯を作って食べながらおしゃべりをしていました。不登校の子どもを抱えて苦しい思いをしていたので、気軽に話せる集まりはお互いに心を

癒やして、子どもに向き合う気持ちのゆとりを持ってました。

私の3人の子どもたちは小・中学校で不登校になり、ずっと悩んでいました。特に末っ子の息子は、小学1年の夏休み明けから登校を渋るようになり、中学校では全欠でした。

特性があって診断を受けましたが学校には気が向かない日々を過ごしていましたが、この春から自ら希望して私立通信制高校に入学し、マイペースで勉強を続けています。

この間、同じような悩みを持つ親御さんが集まる「おしゃべりの会」に私自身、随分救われた気がしています。

6年ほど前、皆さんと相談して不登校の親の会を立ち上げることにしました。長女に会の名前を相談したところ、映画「しあわせのパン」に出てくるパンカフェの名前で主人公がお気に入りの絵本「月とマーニ」からつけた名前。そのキャッチコピーが”わかちあうたびにわかりあえる気がする”そんな居場所になるといいよねと言ってくれました。

不登校の親の会「マーニの会」は、月4回日曜日、分福公民館で開催しています。月に1回ですが水曜日の午前中も開いていて、お母さんが不登校の子どもさんを連れて参加することもあります。

気軽に参加していただけたらと思います。詳しいご相談は下記メールに連絡ください。

メール：2017mani0922@gmail.com

「マーニの会」代表 小野育美



次号は、2025年2月中旬を予定しています。

本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

.....	群馬県子ども・若者支援協議会	
▼	事務局	群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部 私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
▼	TEL	027-898-3557
▼	FAX	027-226-2100
▼	e-mail	kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
▼	HP	https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3 県HP「子ども・若者への支援」